

2018-2020 北方のいろ共同制作ワークショップと国際天然の色展
2018 年染料植物の栽培～収穫～染料化

会場：北の藍染織工房(小樽)

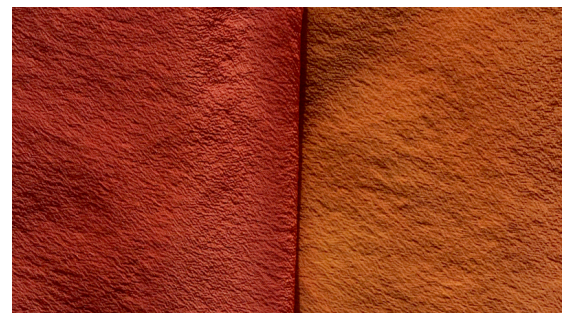
7 月 14 日 1 栽培しているニホンアカネと収穫した生根

2 色素抽出



3 絹を染色、畑の違う根を染め、色の確認を行う。

4 染めた絹-発色が大きく違う



▽8 月 25 日タデアイの収穫

▽8 月 26 日ウオード収穫

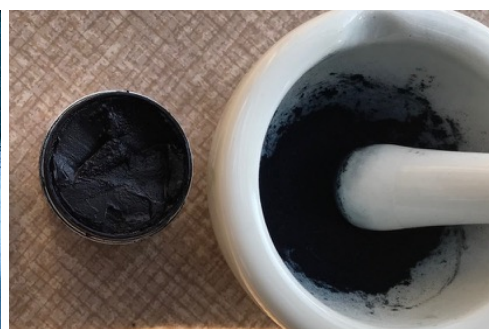
▽8 月 29 日色素抽出



▽沈澱藍製造 (酸化)

▽酸化のみで生成した藍顔料

▽タイセイの藍玉



アースネットワーク

2018-2020 北方のいろ共同制作ワークショップと国際天然の色展
 型糊作り・型置・引き染めワークショップ 7月29日札幌芸術の森染工房



紅型・筒描ワークショップ 9月4-5日札幌芸術の森染工房、8-9日北の藍染織工房（小樽）
 ▽型彫り
 ▽糊置きした布を張り木と伸子張りする



▽豆汁引き



▽布海苔で滲みどめ



▽筒描きの説明



▽糊を筒に入れ、手描きする



▽糊が乾いたら、藍で地染



2018-2020 北方のいろ共同制作ワークショップと国際天然の色展
2018年9月10~13日シルクスクリーンワークショップ

北海道医療大学北方系薬物研究センター研修室、資料室
▽スクリーンに型を貼る ▽媒染糊、天然顔料やインクの糊でプリントする▽蒸す



▽参加者の作品



アースネットワーク



2018-2020 北方のいろ共同制作ワークショップと国際天然の色展
あさひかわ「色の家」レポート 会場：あさひかわ「色の家」

2018年8月18日タデアイの収穫-色素抽出-顔料生成ワークショップ

- 1 タデアイを収穫 2 すぐに茎から葉を外す 3 バケツの水に葉を浸ける



- 4 抽出されたインジゴ成分

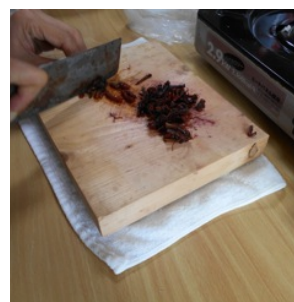
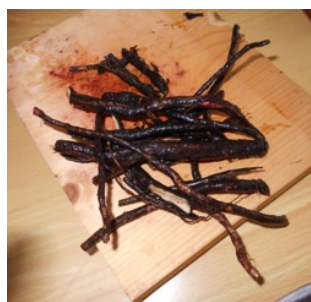


- 5 濾過した液を攪拌して酸素を入れる 6 生成された藍顔料



9月29日アカネ染（ムツバアカネ、インドアカネ）ワークショップ

- 1 栽培したムツバアカネ全草 2 根を収穫 3 根を洗う 4 根を刻む



- 5 高温で抽出2回



- 6 先媒染した布を高温染色 7 染め上がった布



アースネットワーク

2018-2020 北方のいろ共同制作ワークショップと国際天然の色展

10月20日 羊毛の紫根染ワークショップ

1 栽培したムラサキ全草 2 掘り出し直後の生紫根



3 直ぐに生根を刻む



4 原毛は明礬先媒染をする 5 生紫根の色素は、湯で揉みだす 6 アルミと結合し紫色になる



11月9日、10日羊毛のくるみ染とフェルトワークショップ

1 夏に、果皮が緑色のクルミを収穫し、皮を剥き、乾燥させて染料にする。2 抽出



3 鉄媒染した原毛を染める 4 柔らかい茶色になるー乾燥 5 カーダーで毛を整える



2018-2020 北方のいろ共同制作ワークショップと国際天然の色展
6 染めた原毛に洗剤をかけ、摩擦しながら転がし、フェルト化する。7 子供の作品



11 月 17 日和紙と亜麻（ホワイトリネン）のキハダ染ワークショップ

1 キハダの内皮を刻み、高温で 30 分間抽出-濾過を 2 度行い、合わせて染液にする



2 明礬で先媒染した亜麻を入れ、染色 30 分、取り出して軽くすすぎ、乾燥させる。
乾燥後、もう 1 度染色する。

